

2008年8月13日
シダックス株式会社

シダックス環境保全への取組み
レストランカラオケ・シダックス
全国305店舗で打ち水一斉実施！

シダックスグループのレストランカラオケ事業子会社のシダックス・コミュニティー株式会社(東京都渋谷区:代表取締役社長 志太勤一:以下シダックス)は、2008年8月13日(水)から8月末まで、全国305のレストランカラオケ店舗の店頭において「打ち水」を実施し、お客様への参加を呼びかけます。

「シダックスグループ環境方針」を掲げ、地球への愛情を真摯に考えるシダックスグループでは、環境保全活動の一環として、古くなったレストランカラオケのユニフォームをケミカル(新原料)リサイクルしてエコバックを製造し、食育イベント等で活用をしております。

今回実施する「打ち水」は、一昔前までは大事な礼儀作法として習慣付けられていたもので、お客様に心地よく来て頂くための「おもてなしの心」を表現していますが、昨今では地球温暖化対策の一環ともなるヒートアイランド現象の緩和に効果があるとされており、シダックスではその「おもてなしの心」で、環境保全活動の一環として打ち水を実施いたします。残暑が厳しい場合は9月以降も継続する予定です。

“マザーフード”のシダックスは今後も、事業活動を通じて社会的な問題を解決していく「社会問題解決型企業」を目指して、様々な活動を推進して参ります。

レストランカラオケ・シダックス「打ち水」活動概要

<実施期間>

2008年8月13日(水)～8月末

※ 毎日夕方に実施(約5分間)

※ 残暑が厳しい場合は9月以降も継続致します。

<実施店舗>

全国305のレストランカラオケ全店舗

<参考資料>

打ち水・・・昔からの日本の風習で、道路や庭などに水を撒くこと。特に夏場には、撒いた水が蒸発することで熱を奪い涼気をとるため気温を下げる効果があり(実施後周辺の気温が2℃下がると言われている)、道路などの埃を抑える効果もあります。また、打ち水には場を清める意味合いがあり、玄関先などへの打ち水は「来客への心遣い」のひとつとして、昔から行われていました。

以上